

第27回ペプチドフォーラム



『ペプチドの相互作用を活かした科学とその応用』

日時: 2025年6月28日(土) 受付開始: 12:00~

会場: 鹿児島大学理学部2号館2階220講義室(鹿児島大学郡元キャンパス内)

〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21-35

主催: 日本ペプチド学会

後援: 鹿児島大学

オーガナイザー: 吉矢 拓((株)ペプチド研究所)、伊東 祐二(鹿児島大学)

ペプチドは、中分子でありながら、タンパク質と同等な機能(分子認識・シグナル伝達・会合による構造形成等)を持つ生体分子である。このペプチドの機能を用いた様々な応用が可能であるが、本フォーラムでは、ペプチドの基礎研究とともに、創薬等への応用も含めた講演を通して、ペプチド科学の将来展望を議論したい。

参加は無料です。
参加申込みは、以下の
QRコードから



プログラム

13:00~13:05	開会の挨拶	吉矢拓 (株式会社ペプチド研究所)
13:05~13:20	ペプチドとは何か?	伊東祐二 (鹿児島大学)
13:20~13:40	ペプチドデザインによるバイパロットピック抗体の機能制御	秋葉宏樹 (京都大学)
13:40~14:20	アミロイドペプチドの相互作用をつくる・壊す・活かす化学	相馬洋平 (和歌山県立医科大学)
14:20~14:35	休憩 (15分)	
14:35~15:15	女性ホルモンが誘起する痛み関連神経ペプチド遺伝子の転写	松島綾美 (九州大学)
15:15~15:55	抗体模倣分子を用いた疾患関連脱リン酸化酵素阻害剤の開発	中馬吉郎 (新潟大学)
15:55~16:10	休憩 (15分)	
16:10~16:50	膜透過性ペプチドを基盤とした生物物理学観点からのユニークな細胞内導入	中瀬生彦 (大阪公立大学)
16:50~17:05	若手の講演を予定	演者未定
17:05~17:20	若手の講演を予定	演者未定

参加ご希望の方は6月14日(土)までに、上記QRコード、もしくは下記メールから、お申込みください。

【事務局】

〒890-0065 890-0065 鹿児島市郡元1丁目21-35

鹿児島大学大学院理工学研究科理学専攻化学プログラム 伊東研究室

Tel : 099-285-8110 E-mail: k2174603@kadai.jp

参加費無料